

令和6年度デジタル技術講習（ビジネスプランナー育成コース、AIエンジニア育成コース、データサイエンティスト基礎育成コース）企画運営業務委託

プロポーザル募集要領

1 目的及び趣旨

データやデジタル技術を活用して既存事業の成長又は新規事業の展開が急速に進展していく中、各企業において競争力の維持・強化のためにデジタル・トランスフォーメーション（DX）を進める必要性が高まっている。こうした中、各企業がDXを実現するためには、企業内にDXに必要なデジタル技術に精通し、その活用を推進していく人材が必要である。

和歌山県では、県内企業のDX実現を支援するため、データ活用や各種デジタル技術の基礎的な知識やスキルを習得するための講習を開催する。

については、本事業の業務委託事業者を、プロポーザル方式により選定する。

2 概要

(1) 業務名

令和6年度デジタル技術（ビジネスプランナー育成コース、AIエンジニア育成コース、データサイエンティスト基礎育成コース）講習企画運営業務

(2) 業務内容

別添「仕様書」のとおり

(3) 契約期間

本業務の委託契約期間は、契約締結の日から令和7年2月28日までとする。

3 参加資格に関する事項

応募できる事業者は、次に掲げる要件を満たしている者とする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第2項の規定により競争入札への参加を排除されていない者であること。
- (3) 和歌山県が行う競争入札に関する指名停止又は資格停止の措置を受けていない者であること。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき、更生手続きの申立がなされている者、又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立がなされている者でないこと。
- (5) 債務不履行により所有する資産に対し、仮差押命令、差押命令、保全差押又は競売手続の開始決定がなされていないこと。

- (6) 国税及び県税の滞納がない者であること。
- (7) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする者でないこと。
- (8) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2項に掲げる暴力団及びこれらの利益となる行動を行っている者でないこと。

4 スケジュール

・公募開始	令和6年4月10日(水)から
・質問受付	令和6年4月17日(水)17時まで
・質問への回答	令和6年4月24日(水)17時まで
・企画提案書提出予定連絡	令和6年4月26日(金)17時まで
・企画提案書の提出	令和6年5月8日(水)17時まで
・選定委員会	令和6年5月21日(火)
・審査結果の通知	選定委員会の翌日以降（令和6年5月中）
・契約期間	契約締結日から令和7年2月28日（金）まで

5 質問及び回答

プロポーザル参加にあたり質問事項がある場合は、質問票（様式3）を提出すること。

- (1) 質問期限 令和6年4月17日(水)17時まで
- (2) 提出先 和歌山県商工労働部企業政策局企業振興課 経営支援班（県庁本館2階）
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地
電話 073-441-2760（直通）
E-mail e0610001@pref.wakayama.lg.jp
- (3) 提出方法 電子メールにより上記期限内に提出すること。
なお、質問期限を過ぎて提出された質問票は一切受け付けない。
- (4) 質問回答 質問者に対し電子メールで令和6年4月24日(水)17時までに回答するとともに、必要に応じ、和歌山県企業振興課ホームページにおいて公開する。
なお、提案書類の記載内容及び評価基準に関する質問、他の応募者からの提案書提出状況に関する質問、積算に関する質問等は、公平性の確保及び公正な選考を妨げる恐れがあるため受け付けない。

6 企画提案書提出予定連絡

応募する事業者は、企画提案書を提出する予定であることをメール連絡すること

- (1) 連絡期限 令和6年4月26日(金)17時まで
- (2) 連絡先 和歌山県商工労働部企業政策局企業振興課 経営支援班
緒方（おがた）

E-mail e0610001@pref.wakayama.lg.jp

- (3) 連絡方法 電子メールにより上記期限内に件名「令和6年度デジタル技術講習（ビジネスプランナー育成コース、AIエンジニア育成コース、データサイエンティスト基礎育成コース）企画運営業務委託プロポーザル提案について」とし、本文に事業者名と企画提案書提出予定である旨を記載し連絡すること。
- なお、連絡期限を過ぎて連絡した場合はプロポーザル審査会に参加できない。

7 提出書類

(1) 提出書類

次に掲げる①～⑪の書類をすべて提出すること。ただし、⑨～⑪については契約候補者として選定された提案者のみ、選定後に速やかに提出すること。

書類はすべてA4サイズとすること。

①企画提案申請書（様式1）

②企画提案書（任意様式）

③見積書（任意様式）

経費内訳を記載し、宛名は「和歌山県知事 岸本周平」とすること。

なお、見積額が仕様書に記載する予定上限額を超えた場合は失格とする。

④誓約書（様式2）

⑤提案者の概要がわかるもの（会社案内等）

⑥定款又は寄附行為の写し

⑦法人登記事項証明書

⑧直前1事業年度の事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び利益処分計算書又はこれらに類する書類

⑨印鑑登録証明書

⑩法人税又は所得税並びに消費税及び地方消費税について未納がない旨の証明書（提出日において発行の日から3か月以内のもの）

⑪都道府県税について未納がない旨の証明書（提出日において発行の日から3か月以内のもの）

(2) 提出部数及び提出書類の留意事項

ア ①及び③～⑧については1部、②については7部を、郵送により下記期限内に提出すること。ただし、②企画提案書及び③見積書については、郵送による紙媒体の提出に加え、電子データをメールで提出すること。（ファイルサイズが8MBを超える場合は受信できないので、大容量ファイル送受信サービスのURL送付を提出先にメールで依頼すること。）

イ 契約候補者として選定された提案者は、⑨～⑪のそれぞれ 1 部を選定後に速やかに郵送により提出すること。

ウ 提出された書類は、理由の如何を問わず返却しない。

エ 県が必要と認める場合は追加資料を求めることがある。

オ 和歌山県役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格を有する者については、「和歌山県役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格決定通知書」の写しを提出することにより(1)の⑤～⑪の提出書類を当該書類に代えることができる。

カ 期限を過ぎて提出された提出書類は、一切受け付けない。

(3) 提出期限 令和6年5月8日(水)17時まで(必着)

(4) 提出先 和歌山県商工労働部企業政策局企業振興課 経営支援班(県庁本館2階)

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地

電話 073-441-2760(直通)

E-mail e0610001@pref.wakayama.lg.jp

(5) その他

ア 企画提案書等の作成及び提出に要する経費は、提案者の負担とする。

イ 提出された企画提案書等は返却しない。

ウ 一旦提出された提出書類の差し替え及び追加、削除は、理由の如何に関わらず一切認めない。

8 企画提案書の章立て

別表「評価基準」の評価項目に沿って、以下の章立てで記載すること。

1	企画提案の総論
2	講習の周知と受講者の募集
3	講習実施方法
4	講習の内容 ※仕様書_別表②「講習プログラム一覧」の各講習毎に記載すること
5	実施体制及びスケジュール
6	同種の講習に関する業務実績
7	見積価格
8	用語集(任意) ※専門用語、略語等を使用する場合は、提案書の末尾に用語の意味する内容を簡潔にまとめた用語集を掲載すること

9 企画審査

(1) 審査方法

選定は、和歌山県商工労働部所管公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会の委員が行う。

なお、契約候補者の審査にあたっては、提案者によるプレゼンテーションの内容を審査し、競争性・透明性の確保に十分に配慮しながら、企画提案の内容、事業の実施能力等を評価、採点し、契約候補者を選定する。

(2) 選定委員会

ア 開催日時 令和6年5月21日（火） ※時間等は別途通知する。

イ 開催場所 和歌山県民文化会館 4階 411会議室

ウ 企画提案の所要時間（1事業者あたり）

プレゼンテーション 15分

選定委員からの質疑 10分

エ 注意事項

- ①プレゼンテーションの順番は原則として企画提案書の受付順とする。
- ②プレゼンテーション参加人数は、1事業者あたり3名までとする。
- ③提案者は、他の提案者のプレゼンテーションを傍聴することはできない。
- ④指定の時間に遅れた場合には、審査対象としない。

(3) 審査項目及び評価内容

提案する事業内容について、別表「評価基準」に基づき数値（得点）で評価し、契約候補者を選定する。

なお、審査会において必要と認める審査項目を追加する場合がある。

(4) 契約候補者の選定について

各選定委員の評価点の合計が、満点の6割以上である事業提案を行った提案者のうち評価点の合計が最も高い提案者1者を契約候補者として選定する。

なお、提案者が1者の場合においても、選定委員会における評価の結果、各選定委員の評価点の合計が満点の6割以上に達している場合、当該提案者を契約候補者に選定する。

また、評価点が高点の場合は、選定委員による多数決により決定するものとする。

(5) 審査結果の通知

審査結果は、選定委員会の翌日以降に提案者に文書にて通知する。

(6) 審査結果の公表方法及び内容

審査結果は、選定委員会の翌日以降に和歌山県産業技術政策課のホームページにて次の内容を公表する。

ア 契約候補者の名称及び評価点

イ 次点以下の参加者の評価点（提案者名は併記しない）

(7) その他

ア 提出書類を提出後、契約締結までの手続き期間中に提案者が指名停止等の事由に至った場合は、以後の本件に関する手続きの参加資格を失うものとする。

また、該当する者が契約候補者として選定されている場合は、次順位の者と手続きを行う。

イ 提出書類を提出した後に辞退する場合は、速やかに和歌山県まで連絡するとともに、書面により届け出ること。

ウ 契約候補者は、本件業務を一括して第三者に委託し又は請け負わせることはできない。

ただし、業務を効率的に行う上で必要と思われる業務については、あらかじめ和歌山県の承認を受けた場合は業務の一部を委託することができる。

10 失格の条件

以下の条件のいずれかに該当する場合は、失格となることがある。

- (1) 「3 参加資格に関する事項」に掲げる参加資格を満たさない場合
- (2) 企画提案書提出予定の連絡方法、連絡先、連絡期限に適合しない場合
- (3) 企画提案書の提出方法、提出先、提出期限に適合しない場合
- (4) 企画提案書作成のための仕様書等に示された条件に適合しない場合
- (5) 企画提案書に記載すべき事項の全部又は一部が記載されていない場合
- (6) 提案者に次の行為があった場合

ア 委員に対して、直接、間接を問わず故意に接触を求めること

イ 他の提案者と応募提案の内容又はその意思について相談を行うこと

ウ 事業者等選定終了までの間に、他の提案者に対して応募提案の内容を意図的に開示すること

エ 企画提案書類に虚偽の記載を行うこと

オ その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行うこと

11 契約の締結

選定した契約候補者と和歌山県は、企画提案の内容をもとに、協議のうえ仕様書の内容等を確定し契約を締結する。

なお、協議が整わない場合又は契約候補者が契約を辞退した場合は、選定結果において、次点の候補者と協議する。

12 その他

(1) 選定された場合には県担当課と十分協議を行いながら事業を進めること。

(2) 企画提案書に含まれる特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者権利の

- 対象となっているものを使用した結果生じた責任は、企画提案書提出者が負うこと。
- (3) 提出された企画提案書は「和歌山県情報公開条例」に基づき、情報公開の対象となること。
- (4) 複数の提案書の提出はできない。

13 問合せ先

担当課： 和歌山県商工労働部企業政策局企業振興課経営支援班

担当者： 緒方（おがた）

住 所： 〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地

電 話： 073-441-2760（直通）

F A X： 073-424-1199

E m a i l： e0610001@pref.wakayama.lg.jp

令和6年度デジタル技術講習企画運営業務委託プロポーザル
募集要領_別表「評価基準」

項番	総論	内容	評価ポイント	配点
1	企画提案の総論	委託業務の背景や、目的、必要性を考慮し、企画提案に関する基本的な考え方、想定される効果等を簡潔に記載	研修の趣旨が明確に理解されており、委託業務の目的に合致しているか。	5
2	講習の周知と受講者の募集	講習の周知方法及び受講者の募集方法について記載	講習の周知方法及び受講者の募集方法について、効果的な方法が示されているか。	10
3	講習実施方法	実施場所、実施方法（必要機材の手配に関することや新型コロナウイルス感染拡大防止対策の方法）を記載	仕様書を的確に理解し、具体的な実施場所や実施方法が示されているか。	10
4	講習の内容	仕様書_別表②「講習プログラム一覧」の各講習毎に、講習内容や時間配分、講師、講習効果を高めるための工夫を記載	各講習のねらいを的確に理解し、適切かつ効果的な講習内容となっているか。	10
5	実施体制及びスケジュール	業務実施体制及び委託業務全体のスケジュールを記載	委託期間において、業務が滞りなく遂行される適切な実施体制及びスケジュールが示されているか	10
6	同種の講習に関する業務実績	同種の講習実績について、業務内容、契約相手方、受講者数、実施年等を記載 ※関連資料の添付可	実績やノウハウ、業務遂行能力を有しているか	5
7	見積価格	委託業務の見積総額とその経費内訳を記載	経費内訳が明確であり、妥当な価格であるか（予定価格を超えた場合は失格とする）	—
合計				50